



2023年2月13日

各位

会社名 株式会社ハイパー  
代表者名 取締役社長 望月 真貴子  
(コード番号：3054 東証プライム市場)  
問合せ先 取締役 江守 裕樹  
(TEL 03-6855-8180)

## 業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2022年8月10日に公表しました2022年12月期の連結業績予想ならびに配当予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 業績予想の修正

(1) 2022年12月期連結業績予想数値の修正 (2022年1月1日～2022年12月31日)

(単位：百万円)

|                         | 売上高    | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に帰属する当期純利益 | 1株当たり当期純利益 |
|-------------------------|--------|------|------|-----------------|------------|
| 前回発表予想(A)               | 10,990 | 5    | 7    | △390            | △40円20銭    |
| 今回修正予想(B)               | 10,599 | △45  | △41  | △499            | △51円50銭    |
| 増減額(B-A)                | △390   | △50  | △48  | △109            | —          |
| 増減率(%)                  | △3.6   | —    | —    | —               | —          |
| ご参考:前期実績<br>(2021年12月期) | 20,536 | 48   | 36   | △53             | △5円72銭     |

#### (2) 修正の理由

今期の当社グループの状況につきましては、アスクルエージェント事業や子会社の業績は概ね順調に推移いたしました。アスクルエージェント事業においては、日用品、衛生用品などの販売が好調に推移、生活消耗品の需要の高まりもあり、売上、利益は堅調に推移いたしました。

一方で、主力のITサービス事業においては国内景気の先行き不透明感から新規顧客向け活動の回復に遅れが見られることに加え、国際的な物流の停滞などもあり、サーバーおよびネットワーク機器の部材不足は継続し、供給は引き続き不安定な状況が続きました。また、急激な円安による調達価格の上昇分を販売価格に転嫁せざるを得ない状況などもあり、顧客の購買行動に抑制傾向が強まったことで、売上、利益が大きく減少いたしました。

また、当期純利益については固定資産の減損を計上したことにより大幅に減少いたしました。

その結果、売上及び利益が当初予想を大きく下回る見通しです。

以上の理由により、業績予想数値を上記のとおり修正いたします。

※上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

## 2. 配当予想について

|                           | 年間配当金 (円) |          |          |
|---------------------------|-----------|----------|----------|
|                           | 第2四半期末    | 期 末      | 合 計      |
| 前 回 予 想                   | —         | 4 円 50 銭 | 9 円 00 銭 |
| 今 回 修 正 予 想               | —         | 2 円 50 銭 | 7 円 00 銭 |
| 当 期 実 績                   | 4 円 50 銭  | —        | —        |
| 前 期 実 績<br>(2021 年 12 月期) | 4 円 50 銭  | 4 円 50 銭 | 9 円 00 銭 |

### (1) 配当予想修正の理由

当社は、株主の皆様への利益還元の充実を重要な政策の一つと認識し、安定配当の継続を基本方針として、業績の推移などを勘案して実施することとしております。

中間配当では1株当たり4.5円で決定しましたが、今回の連結業績予想の修正を踏まえ、期末配当予想は1株当たり2.5円とさせていただく予定です。これにより第2四半期末の4.5円と合わせて1株当たり年間配当金は7円になる見込みです。

以 上